

イベントプログラム研究部会（第1回）

日 時：5月27日（水）15：00～17：00

会 場：日本スポーツ振興センター

出席者：橋爪紳也（部会長）、小松史郎、澤内隆、野川春夫、
荒木裕司、渡部雅隆、
事務室（小林政則、加藤淑子、内田なお子）



おもな議題

- ・研究部会の進め方と方向性について
- ・橋爪部会長より事例のプレゼンテーション
- ・今後のスケジュールについて

おもな内容

- ・橋爪：幅広いイベントのアイデアを検討して、2020年前後に実現可能な具体的なメニューを5案程度揃えたい。
海外の先進事例を研究し、実際に実施したイベント、検討したが実施は叶わなかった事例などを集める。スタジアム以外のスペースで実施されているイベントを、スタジアムでの実施の可能性も探りたい。
新国立競技場を中心としたエリアで、毎年恒例になるような新しい行事を計画し、日本発の世界を巡るイベントを検討したい。
- ・荒木：新国立競技場の計画はロンドンのウェンブリースタジアムを参考にしている部分が多い。部内で保有している視察資料を用意した。
- ・野川：人を引き付けるコンテンツで、理想的なプランと現実的なプランの2つの方向性で検討していきたい。

今後のスケジュールについて

- ・第2回 6月19日（金）10：00～12：00 日本スポーツ振興センター（予定）
- ・第3回 7月21日（火）10：00～12：00 日本スポーツ振興センター（予定）
- ・第4回 8月24日（月）16：00～17：30 日本スポーツ振興センター（予定）
- ・第5回 9月3日（木）16：00～17：30 日本スポーツ振興センター（予定）
- ・第6回 10月1日（木）16：00～17：30 日本スポーツ振興センター（予定）

その他のおもな議論

- ・橋爪：先日幕張で Red ブルのエアレースが開催された。先行して大阪城公園ではフリースタイル・モトクロスの大会を 2013 年と 2014 年の 2 回行っている。会場が特別史跡のため多くの規制と課題はあった。スタジアムイベントも、従来の固定概念と規制を突破した新しい考え方でプランを出していきたい。
海外のフェスティバルは、街全体を会場にスタジアムが中心となって開催される事例が多い。外周や周辺エリアを含めた面的な展開も検討したい。幕張のエアレースでは、隣接する公園でミニクーパーの試乗会が行われていた。スタジアム周辺で何ができるかが、大事なポイントになる。
- ・小松：コンセプション研究部会では「稼げるスタジアム」(案)をテーマにした研究を考えている。収益性を上げるコンテンツの検討は、イベントプログラム研究部会の研究と重複するかもしれない。その他、ネーミングライツなど施設そのもので稼ぐアイデアも検討したい。オフィシャルスポンサーなら 10 社からサポートを受けることもできる。
- ・澤内：従来はタブーとされてきたことでも、社会実験の名目で既成事実をつくれれば緩和に結び付けることができる。
- ・橋爪：国内外からの観光客の撮影ポイントとなるようなアイコン的なものや、2020 年のモニュメント等も検討が必要。
- ・橋爪：リオ五輪の視察も検討したい。
- ・荒木：今年の 9 月中旬からラグビーのワールドカップもイングランドで開催される。
- ・小松：全体のメーリングリストと部会単位のメーリングリストを作成して欲しい。

(事務室)

- ・メーリングリストやデータの共有ファイルなどは、事務室で検討の上で用意する。
- ・研究会に集まるデータや知り得た情報に対する守秘義務等のルールも検討する。
- ・JSC のご担当者に海外事例のプレゼンテーションを研究部会ごとをお願いしたい。
- ・6 月 4 日 (木) の理事会総会で、研究会の発足に対する正式な承認を受けた後、賛同する企業を募るために、研究部会の主旨や研究テーマをまとめた、民間事業者の立場に立った運営の研究を PR する書類を作成する。以降、記者発表も予定。